

第14卷

昭和十八年度

才二回評議委員会議事録

昭和十八年度
才二回評議委員会議事録

一、出席者
二、議程
三、議決事項
四、その他

日本常民文化研究所
財団法人

昭和十八年度
才二回評議委員会議事録

一、出席者
二、議程
三、議決事項
四、その他

日本常民文化研究所
財団法人



昭和二十八年年度
 ◎ 第三回評議員會議事録
 一月十日 昭和二十九年五月二十四日
 三、出席者 評議員 磯貝 勇 評議員 石田 英二 郎
 市川 信次 伊豆 田 謙吉
 同 田 正 樹 小 川 徹
 小宮 山 春 木 小 井 田 鞠 次 郎
 藤 嘉 一 郎 澤 田 四 郎 作
 鈴木 文 醇 浦 山 定 吉
 田 中 吉 子 美 泰 良 環 三 助

大ニ國語。漢字。金。漢。事。録
 昭和二十八年年度

日本書局
 大正



◎ 議案第三号

役員改選の件
 議長、去る三月十九日、心筋梗塞に罹りて之くなられ
 左様西光速理事につき、哀悼の意を表したあと、
 役員改選の件については、現役員が再任を求めたい
 左様し、榊西理事の後任はとくにあかないことを述べた
 以上、全役員は議長と水と承認した。
 以上、三月十九年度の役員は左の如くである。
 理事 有賀喜左衛門、幸野修平、榊田勝徳、
 監事 竹内利美、羽原又吉、宮本馨太郎
 ◎ 議長 遠藤 武、長谷川重三郎、山際正道
 以上、議案を全部終了し、午前一時、議長閉会
 を告げた。

次上

昭和三十九年五月二十五日

議長

榊田勝徳

署名人

宮本常一

署名人

山田明男

署名人



昭和三十八年度
 第一回理事會會議事録
 一、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平
 二、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平
 三、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平
 四、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平

財団法人

日本常民文化研究所

昭和三十三年五月二十五日

昭和三十八年度
 第一回理事會會議事録
 一、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平
 二、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平
 三、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平
 四、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野信平

宮本常一

田村孝



大正四回理事人会議事録
昭和三年八月廿四日

日本学術大会
昭和三年八月廿四日



昭和三年八月廿四日 理事人会議事録

一日時 昭和三年五月二十四日午後一時半 開会
場所 浅草区本町三丁目三番地 浅草区役所
出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野修平
三、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野修平
三、出席者 理事 有賀喜左衛門 理事 宇野修平

四、議事要領
榎田理事長議長となり、開会を宣し、出席者定足
数に達したる旨を報告し、ついで議事録署名を以て

榎田理事長議長となり、開会を宣し、出席者定足
数に達したる旨を報告し、ついで議事録署名を以て



有賀喜吉太郎、宮本馨太郎、西理幸、西指石、
議事に入る。

◎ 議案第一号

昭和三十九年度事業報告及び決算に関する件

議長、事業の概要および決算について報告をなし、
これについて承認を求めたところ、全員異議なく承
認した。

◎ 新議案第一号 田嶋潤十番如 忠不即
昭和三十九年度事業計画及び決算に関する件

一日却議長、研究所の事業上の重要事項が、
先生の逝去による動揺はまぬか小難く、また三
にこの見通しをいせん、明きはなにか、研究所の
再建の才とて、役員のみならず、同人の



の協力により、絵巻物のこままのり、研究成果を
先生の編著として「絵巻物による日本市民生活
絵引」の題名のもとに才一巻を年度内以上梓し
たく、発行は再川書店として日を詔り、全員異
議なくこれを承認した。

◎ 議案第二号

榊西理幸死亡に関する件

議長、まが去る三月十九日、心の助硬塞症にて亡
くなるに榊西光速理事の一時衰弱を代表し、
ついでこれが後任についてはとにかかないことをけり、
全員異議なくこれを承認した。

以上で議案を全部終了し、午後三時半、議長用会
を閉じた。

13.

Blank lined page with a faint red seal at the bottom center.

昭和三十九年五月二十五日

櫻田務徳

有賀喜花門

宮本馨太郎

次上

Various smaller handwritten notes and seals are present on the page.

